

地方独立行政法人桑名市総合医療センターの
令和7事業年度に係る業務実績に関する
評価結果

令和8年8月

桑名市長 伊藤 徳宇

年度評価の方法

本評価委員会は、地方独立行政法人桑名市総合医療センター（以下「法人」という。）について、「地方独立行政法人桑名市総合医療センターの業務実績に関する評価の基準」に基づき、法人の第4期中期計画の第2期事業年度である令和7事業年度の業務実績に関する評価を行った。評価は、項目別評価と全体評価を行い、項目別評価では、法人による自己評価を基に法人へのヒアリングを通じて、自己評価の妥当性や年度計画の進捗状況について、小項目評価及び大項目評価を行った。また、全体評価では、項目別評価の結果を踏まえ、年度計画及び中期計画の進捗状況について、総合的な評価を行った。

I 大項目評価

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

(1) 評価結果と判断理由

小項目評価の平均点は3.3であり、また以下のことを考慮し、「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する大項目評価は、B評価（おおむね計画どおりに進んでいる）が妥当と判断した。

(2) 大項目評価に当たり考慮した事項 【 ー（ ）】は中項目番号及び小項目番号 〔小項目評価が4の項目〕

・【2－（2）】デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

電子カルテの更新や、入院患者用のWiFi環境整備、職員用のスマートフォン導入またA Iの活用など、機能強化を図り環境整備を整えられていることが伺えること。

・【3－（1）】医師の確保

栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連や感染に係る薬剤投与関連の特定行為研修終了看護師の配置を行い、医師の業務負担軽減につながる事が伺えること。

・【4－（1）】診療待ち時間等の改善

NOBORIの登録者は5,000人以上あり、職員を配置し普及率の向上に努め、わずかではあるが計画値より待ち時間が短縮されていること。

〔評価委員会で自己評価を3から4に変更した項目〕

・【3－（2）】研修医の受入れ及び育成

初期研修医について募集定員14人に対し14人のフルマッチを達成したことは、現在の医療情勢において非常に困難であり、高く評価できること。

〔評価委員会で自己評価を４から３に変更した項目〕

・【１－（２）】地域医療連携の推進

地域連携パスの利用件数においては、実績値が計画値よりも上回っているが、紹介率・逆紹介率及び地域連携検査の利用数においては、実績値が計画値を下回ったため。

・【５－（３）】施設設備の整備及び更新

電子カルテの更新は、診察への影響を最小限に抑えられているが、現時点では想定の影響範囲の影響であったため。

(3) 小項目評価の集計結果

中項目	評価対象 小項目数	５：年度 計画を大 幅に上回 って実施 している	４：年度 計画を上 回って実 施してい る	３：年度 計画を順 調に実施 している	２：年度 計画を十 分に実施 できてい ない	１：年度 計画を大 幅に下回 っている
１ 医療の提供	３		１	２		
２ 医療水準の向上	２		１	１		
３ 医療従事者の確保	３		２	１		
４ 患者サービスの一層 の向上	３		１	２		
５ より安心して信頼でき る質の高い医療の提供	４			３	１	
合計	１５		５	９	１	

第２ 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

(1) 評価結果と判断理由

中項目評価の平均点は３．４であり、また以下のことを考慮し、「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する大項目評価は、Ｂ評価（おおむね計画どおりに進んでいる）が妥当と判断した。

(2) 大項目評価に当たり考慮した事項 【 】は中項目番号

〔中項目評価が４の項目〕

・【１】規律ある職場づくり

日本医療機能評価機構から認定受けた８８項目中のうちＢ評価となった８項目のすべてにおいて指摘事項の改善に取り組み７項目がＡ評価へと改善され、継続的な質改善に向けた体制整備が伺えること。

・【2】適切かつ弾力的な人員配置

認定看護管理者及び医療メディエーターにおいて、前年実績値より増えていること。

〔評価委員会で自己評価を4から3に変更した項目〕

・【3】職員の職務能力の向上

人事評価制度を従来と比較して大きく改善したと明確に言えないため。

・【4】職員の就労環境の整備

令和7年度計画値を達成している項目と達成していない項目があり、総合的に判断した評価とした。

(3) 中項目評価の集計結果

中項目	評価対象 項目数	5：年度 計画を大 幅に上回 って実施 している	4：年度 計画を上 回って実 施してい る	3：年度 計画を順 調に実施 している	2：年度 計画を十 分に実施 できてい ない	1：年度 計画を大 幅に下回 っている
1 規律ある職場づくり	1		1			
2 適切かつ弾力的な人員配置	1		1			
3 職員の職務能力の向上	1			1		
4 職員の就労環境の整備	1			1		
5 効率的な業務体制の推進と改善	1			1		
合計	5		2	3		

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

(1) 評価結果と判断理由

「財務内容の改善に関する目標と達成するためとるべき措置」に関する評価結果は2.7であり、大項目評価は、B評価（おおむね計画どおりに進んでいる）が妥当と判断した。

(2) 中項目評価の集計結果

中項目	評価対象 項目数	5：年度 計画を大 幅に上回 って実施 している	4：年度 計画を上 回って実 施してい る	3：年度 計画を順 調に実施 している	2：年度 計画を十 分に実施 できてい ない	1：年度 計画を大 幅に下回 っている
1 持続可能な経営基盤の 確立	1				1	
2 収入の確保	1			1		
3 支出の節減	1			1		
合計	3			2	1	

第9 桑名市地方独立行政法人法施行細則第6条で定める事項

(1) 評価結果と判断理由

「桑名市地方独立行政法人法施行細則第6条で定める事項」に関する評価結果は3であり、大項目評価は、B評価（おおむね計画どおりに進んでいる）が妥当と判断した。

Ⅱ 全体評価

1 評価結果と判断理由

法人の令和 7 事業年度の業務実績については、4つの大項目評価の全てにおいて、B評価であること、加えて以下の点を考慮し、全体としては中期計画の達成に向け、おおむね計画どおりに進んでいると評価した。

2 全体評価に当たり考慮した事項（大項目評価に当たり考慮した事項以外のもの）

(1) 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

- ・分娩件数は、多くの病院で減っている中、昨年度実績値及び計画値よりも増えている。

(2) 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

- ・入院患者数の減少により入院収益が減少し、また物価高騰等の影響により費用が増加した事により純利益は前年度対比減益となったが、その理由の一つとしては、全国的な入院患者数の減少など構造的な変化の影響も考えられる。
- ・入院収益の改善に向けて、現在は救急の受入れ体制の見直しを図る等、患者の受入れに対する改善策が示されている事から今後も受入れ状況を注視していきたいと考える。
- ・生成 AI の活用により、文書作成にかかる時間を大幅に短縮し、医師の事務量の軽減を図る等の時間外削減への取組みが見受けられるので、今後も人件費の削減に向けて努力されたい。
- ・開業医との地域連携をさらにスムーズに行うために、医療DXによるシステム導入の考えが示された事から、患者増に伴う収益増に期待する。

3 評価に当たっての意見、指摘等

- ・法人の自己評価を判断するために、数値目標がない項目は、できる限り詳細に記述し、評価しやすいように工夫していただきたい。
- ・医療事故においては、過去の事例を何度も振り返り指導してほしい。